

春夏秋冬



武蔵野会ニュース No.184 令和4年1月15日

発行 社会福祉法人武蔵野会

本部 東京都八王子市旭町12-4.201 TEL042(631)6341

<https://musashinokai.jp/>

新年のごあいさつ



「冊子の封入作業は根気が必要な仕事です」
練馬区立北町福祉作業所

ト ー ク

コロナ禍での急速な変化と 変わらないもの

晴天の続く穏やかな正月でしたが、あつという間に新型コロナウイルスの感染が広まりました。落胆は大きいですが、個人や施設としての感染防止対策を継続していくことが何よりも大切になってきています。

感染の始まりから2年、これまで当たり前ではなかったことが、短期間で当たり前になっています。例えば、オンラインでの活動は、以前一部では実施されていましたが、今ではあらゆる場面で行われていて、感染が終息してもこの活動は継続することでしょう。ベーシックインカム（最低所得保障）についても、机上の空論のように言われてきましたが、今では世界中で実施され、不可能というレベルではなくなりました。産業構造も生活様式も、これから世界がどのように変化していくのかは誰にも分かりません。

「人間は事実より物語を通して思考する」という概念を主張し、人類の歴史を述べた世界的なベストセラー「サピエンス全史」「ホモ・デウス」の著者、ユヴァル・ノア・ハラリ氏は「感染症の対応は孤立主義や分離主義ではなく、情報共有と協力である。グローバルな連帯ができるれば、人は自分たちを保護してくれる独裁者や救世主を待ち望むようになる」と述べましたが、事実、世界では権威主義的国家の数が自由主義国家を超える状況に変化してきています。

一方で、コロナ禍で変わらないものも世界中で明確になりました。医療はもちろんのこと、食品等を作り、売り、運ぶ、ごみを回収する、清掃をする、介護や支援をする等の暮らしに直結した仕事の大切さです。今後、変わりゆく社会に対応するためにも、暮らしの基盤を支える仕事をの大切さを認識し、継続できるようにしなければならないと年頭に当たり思いました。

謹賀新年

理事長 高橋 信夫



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

オミクロン株の感染が一気に広がり、感染防止対策のさらなる強化が必要な年明けとなりました。昨年まではクラスターもなく、施設運営に大きな支障が出ることはありませんでした。ですが、本年も継続できるように対応していきたいと思います。

昨年は、法人として反省と改善が必要な、大きな事案を継続して起こしました。今年も改善に向けた努力を継続いたします。武藏野会を利用される方々が、様々な活動を通して豊かで安心した生活が送れますように、職員が働きやすい環境で支援ができるように、法人全体で取り組んでまいります。

後援会会长・運営協議会委員 石谷 暢司



新年あけましておめでとうございます。会員と協力者の皆様

には清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。40年前の1982年に「太陽の子後援会」から「武藏野会後援会」に名称変更し、脈々と支援活動が絶えることなく、日常生活や社会経済活動に深刻な影響をもたらしている新型コロナ感染症が新たな変異株の発生により感染拡大が懸念されています。しかし、このような状況の中でも、日々皆様から心温まるご支援をいただいていますことに深く感謝申し上げます。

昨年12月には第1回目の寄付支援金をいたしました。これもひとえに皆様のお力添えの賜物と存じます。何卒本年度目標額達成に更なる協力をお願い申し上げ、ご健勝を祈念申しあげます。

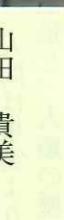
今坂 康志



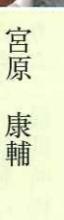
上野 純宏
(医師)
(前理事長)



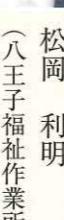
山内 哲也
(rian文京総合施設長)



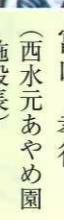
山田 貴美
(法人本部長)



宮原 康輔
(練馬福祉園施設長)



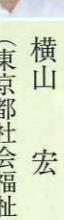
富山 孝行
(西水元あやめ園施設長)



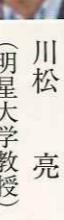
松岡 利明
(八王子福祉作業所施設長)



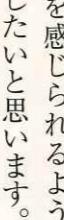
横山 宏
(東京都社会福祉協議会副会長)



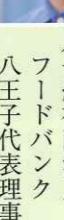
川松 亮
(明星大学教授)



横山 宏
(東京都社会福祉協議会副会長)



國本 康浩
(一般社団法人 フードバンク 八王子代表理事)



社会的課題という他人事ではなく、自分が何を思うか感じじるか、常にこの視点から。

共に過ごす時間を大切に、日々の幸せを感じられるよう今年も努力したいと思います。



千代田区立障害者福祉センター
えみふる 施設長 的場 康芳

新年あけましておめでとうございます。今年こそ、女性支援法が実現できる年でありますように祈ります。そして皆様の上にも幸多きことを祈ります。

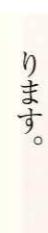


横田 千代子
(全国婦人保護施設等連絡協議会会長、婦人保護施設いづみ寮施設長)

【評議員】



谷口 健吉
(税理士)



松田 京子
(前東京都社会福祉協議会福祉部長)

【監事】



武藏野会の事業・活動のさらなる充実に向けて監事の役割を果たせるよう努めてまいります。

一人で過ごす空間のあり方に変化をもたらしました。人と人が対面で接することの価値は認めるところですが、オンラインだからこそ

の利便性が存在したこと、また事実です。今までの福祉は施設で足を運び利用することが当たり前でしたが、利用者の多様化により、従来型の福祉サービスでは限界を迎えていたと言えます。今回のコロナ禍を、多様化したニーズに応えられる社会をつくるチャンスであると捉えることも出来るのですが、自宅にいながら社会と繋がりを持つことが可能となります。「ひきこもりはいけないこと、恥ずかしいこと」という概念も変わるかもしれません。施設とオンラインのハイブリッドを導入することで、双方の良さを活かしながら、多様な参加を実現させることができます。健常者の中に障がい者がいる、障がい者の中に健常者がいる、こういう状況が当たり前となる社会になることを切に願います。

むさしの武蔵野
「チヤンスの時代」

新型コロナウイルスの蔓延から2年が経とうとしています。不要不急の外出自粛を余儀なくされていましたが、障がいをお持ちの方の生活を止めないことを目標に、全面的にサービスを休止するのではなく、可能な限り運営を続けてきました。

これまでのえみふるでは、幸い利用者、職員ともに陽性者がいない状況ですが、最近は新型変異株の「オミクロン株」が世界中で蔓延しており、まだ安心出来ない状況にあります。仮に終息を見せたとしてもコロナ禍以前と全く同じ状況に戻ることは考えにくいですし、そうなるべきではないと考えています。

今までの新型コロナウイルス対策として、3密の回避、検温および体調確認、手洗いと手指の消毒、マスクの着用を徹底してきました。また、オンラインの普及、在宅ワーク、不要不急の外出自粛など、世の中が行ってきた様々な対策は、不便さを感じると同時に利便性も皆が体感したことと思います。

対面や移動を避ける生活様式は、人間が本来持つ社会的な繋がりや

明けましておめでとうございます

社会福祉法人武蔵野会職員一同



リアン文京
総合施設長 山内哲也



八王子生活実習所・リンクス柄田
施設長 岡部智彦



白鳥福祉館
施設長 吉倉美佐子



八王子市心身障害者福祉センター
施設長 峯尾常雄



八王子福祉作業所
施設長 松岡利明



リアン文京
施設長 野村美奈



練馬区立北町福祉作業所
施設長 木村文孝



東堀切くすのき園
施設長 金澤正義



練馬区立大泉町福祉園
施設長 酒井康弘



きね川福祉作業所
施設長 本田直記



さくら学園



すぎな愛育園
施設長 野田久美子



世田谷区立世田谷福祉作業所
施設長 伊藤久美子



第2大島恵の園
施設長 安田喜人



武蔵野児童学園
施設長 金子陽介



練馬区立光が丘福祉園
施設長 横尾泰朗



大島恵の園
施設長 宗 信介



世田谷区立駒沢生活実習所
施設長 村山俊彦



希望の里
施設長 福田信行



西水元あやめ園
施設長 富山孝行



法人本部職員



練馬区立光が丘障害者地域生活
支援センター「すてっぷ」
施設長 石野哲朗



練馬福祉園
施設長 宮原康輔



世田谷区立烏山福祉作業所
施設長 野々村武志



小平福祉園
施設長 多々良康子



世田谷区立九品仏生活実習所
施設長 山内ゆきみ



千代田区立障害者福祉センター「えみふる」
施設長 的場康芳

ニユース ラウンジ

緊急用 発電機の設置

第2大島恵の園

昨年の10月に緊急用発電機が設置されました。

一昨年の9月の台風で伊豆大島には大きな被害があり、島中の電気が23時間止まり、ポンプで送られている飲料水も止まりました。食事はガスで対応できるものにして乗り切りました。翌日は台風一過の晴天で、気温が一気に上がりました。電気が止まっていたのでエアコンは使えません。暑い中、皆さんに我慢をしていただくわけにはいきませんでした。マイクロバスにエアコンがついていたので、暑い日中はみんなでドライブをして、暑さをしのぎました。幸い、夕方になると多少涼しくなったため何とか誰も熱中症になることなく過ごせました。

しかし、真夏に台風が来たら大変なことになると感じ、エアコンの発電機を設置したいと計画し



新たに設置された緊急用発電機

くぬぎだホーム リンクス柵田 オープン

リンクス柵田

10月からリンクス柵田の2階に「くぬぎだホーム」がオープンしました。利用定員は共同生活援助4名、短期入所2名の合計6名で、女性専用のグループホームです。障害支援区分が高い方でもご利用できるように、駐車場からエントランスまでエレベーターが設置されており、入浴設備は、通常浴槽の他にシャワーラインチャエアーの特殊浴槽もご用意しました。居室は収納スペースを別にして10.29m²を確保。見学に来られた方の第一声は皆さん決まって「広いですね！」です。ダイニングを兼ねたリビングルームは、南側にバルコニーを配置していくつても光と風が感じられる作りになっています。因みに64.06m²(約19坪)の広さは、6人全員が一緒にパルコニーを配置していくつでも食事を取っても十分な広さです。リビングに接して一段高い場所には8畳ほどの畳コーナーもあり、ゴロンと横になることも可能ですが、ゴロンと横になることも可能になりました。出入口とバルコニー、リビングと廊下にはそれぞれ安全カメラを配置して、セキュリティも万全の体制です。

した。初めは「興味津々」「蜂が怖い」など様々でしたが、養蜂家の丁寧な説明や、実際にミツバチを手に乗せたり、取れたてのハチミツを試食したりして最後には「ミツバチはかわいい」に変わっていました。現在ミツバチは養蜂家の住む青梅市で越冬中です。千代田区内の障がいがある方や生きづらさを抱える方などへの広報、ボランティア募集をし、春に蜂家の方々と一緒にミツバチを迎えることを思っています。



広くてきれいな居室です

気になる夜間の支援体制は、これまでにもグループホームで経験を積んだことがある女性スタッフを採用することができます。また、夜間体制が現在は1名なので、引き続き職員の採用を進めるとともに、勤務シフトの工夫や一層の研修を進めてどのような利用希望にも対処できることが課題です。また、休日の支援が当面できないため、金曜日の夜から月曜日の朝までは一時帰宅していただくことになっています。

体験利用の受付も始まり、すでに20名近くの方が、1泊から最大で3泊の体験をしています。親元を離れた生活は、緊張と喜びが半分半分ですが、自立への一歩をぜひ応援していきたいと思います。

養蜂で絆社会を!

えみふる

えみふるでは昨年から明治大学の猿楽町校舎屋上で行われている「養蜂」に参加しています。活動しているのは大学の大森正之研究室（環境経済学）の学生の皆さん。春から秋にかけて毎週日曜日に養蜂家のご指導の下、内検や採蜜と一緒に行つきました。

えみふるでは「地域つながり隊」を結成し、アート×企業、アダプテットスポーツ体験、区内の特例子会社や障害者就労支援施設のパンを路上で販売するなど、障がいがある人もない人も共に地域で安心して暮らし続けられる「絆社会の実現」を目指して様々な企画や提案をしています。「養蜂」は、その一つで、ミツバチの世話やハチミツの採取から瓶詰作業、ラベル貼りなど「養蜂活動」を通して地域交流を考えています。まずは巣箱の設置場所を探しから始めました。幸いなことにえみふるから徒歩5分の明治大学で養蜂を行つたこと、えみふるの活動にご賛同いたしました。今年はえみふるの職員全員が養蜂を体験しま

した。幸いなことにえみふるから徒歩5分の明治大学で養蜂を行つたことになりました。今年はえみふるの職員全員が養蜂を体験しました。



地域の絆を結ぶミツバチたち

月に一度、管理栄養士がフロアを回つて利用者と一緒におやつ作りを行っています。12月は抹茶のシフォンケーキにあんバターと生クリームを挟んだシフォンサンドを作りました。軟らかい生地で食べやすく、利用者の方は楽しみとなっています。

八王子福祉作業所
非常事態宣言も解除され、作業所の余暇支援も以前の活気が戻つてきました。POPグループ「アップリフト」のコンサートも再開されました。この日は大島恵の園とオンラインで繋がり、二つの会場で大盛り上がりました。

さくら学園

月に一度、管理栄養士がフロアを回つて利用者と一緒におやつ作りを行っています。12月は抹茶のシフォンケーキにあんバターと生クリームを挟んだシフォンサンドを作りました。軟らかい生地で食べやすく、利用者の方は楽しみとなっています。

施設あれや これや

武藏野児童学園

みんな揃つて元気に新年を迎えることができました。この時勢のなかで大過なく過ごしてきたのは、職員の努力に子どもたちの協力があつてこそです。感謝の気持ちを忘れずに、子どもたちの幸せのために協力していきます。

練馬福祉園

11月8日（月）、恒例のドミニングイロ・ド・サンバが来園しました。昨年もコロナ禍に明るい話題を振りまいてくれましたが、ワクチン接種の行き届いた今年は、窓を振りまいてくれましたが、ワクチン接種の行き届いた今年は、窓を振りまいてくれました。皆さん大迫力のサンバを感じて楽しんでいました。

駒沢生活実習所

12月24日のクリスマスイブはコロナ禍ということもあり、1階と2階に分かれ時間差でクリスマス会を開きました。自主生産活動の売り上げでオリジナル巾着袋を作製し、利用者皆様にサンタクロースから配られました。

九品仏生活実習所

厳しい寒さが続いていますが、

ブランターで育てている桜草がチラホラ咲き始めています。薄ピンクの優しい色を見ると体がほっこり温かくなります。春にはご近所の職員が就寝までをサポートします。たせいか、思いのほかスムーズに過ごすことができました。

きね川福祉作業所
リンクス柵田の2階にオープンした「くぬぎだホーム」で3名の女性利用者が体験利用をしました。初めての経験でしたが、実習所の職員が就寝までをサポートします。たせいか、思いのほかスムーズに過ごすことができます。

八王子福祉作業所
コロナ禍で作業種目が安定せず、業者様の協力でなんとか作業提供を行っています。「葛飾かりんと饅頭」も販売先は限定されてしましました。この日は大島恵の園とオンラインで繋がり、二つの会場で大盛り上がりました。

お知らせコーナー

1月

- 7日(金) 新年会 (東堀切くすのき園)
- 8日(土) 成人を祝う会 (八王子生活実習所)
- 28日(金) 総合防災訓練 (法人)

2月

- 27日(日) 日本福祉大学 第15回提携社会福祉法人サミット

3月

- 23日(水) 新任職員研修・辞令交付式

新型コロナ感染症予防のため、行事の開催を中止・縮小する場合があります。開催の有無等、詳細は各事業所にお問い合わせください。

消毒用アルコールジエルをご寄付いただきました

法人本部



先日、中小企業同友会様を通じて、株式会社きんと

うん様、非営利株式会社ビックエス・インターナショナル様からア

声がけくださいました。中小企業同友会様、ご寄贈いただきました株式会社きんとう様、非営利株式会社ビックエス・インターナショナル様、本当にありがとうございます。

ルコールジエルを段ボール23箱分いただきました。本部に送付いたしました。まだコロナ禍で不安を抱えたままの施設運営にはとてもあります。早速本部でも使わせていただいています。お問い合わせください。



手指の消毒はこれで安心です



サンライズ（就労継続B型）では今まで季節に合わせたお菓子と飾りのコラボ自主生産品をいくつか作ってきました。ただいま春に向けて桜のファイナンシェひな飾りセットに取り組んでいます。今回も季節感とかわいい！おいしい！のテーマで利用者さんが一生懸命作っているところです。

☎ 042・433・9330

**ファイナンシェ
ひな飾りセット**

ショーケース

自主生産品紹介

新商品



チーズパウンド 練馬区立北町福祉作業所
☎ 03・3559・0361
粉チーズをたくさん使用して、アクセントにドライトマトを入れた新商品「チーズパウンド」。甘さの中にも大人の感じが味わえる、いつもと違ったパウンドケーキをお楽しみいただけます。お手軽なミニサイズもご用意しています。（大800円、小200円）

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する事業所の利用者のためにより良い環境や施設の充実、円滑な運営などを物心両面から支える組織として武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により会の拡大を図り、法人の運営基盤の確立を応援していますのでご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3
電話・FAX 042-626-9772

チーズパウンド
練馬区立北町福祉作業所